



## 申7号「JR東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方について」団体交渉実施！～その①～

### ① 今施策を安全第一の職場を構築するとともに、働きやすい職場環境を構築すること。

**確認事項** 大規模輸送障害が相次いでいることを重く受け止め、安全性向上に努めていく。  
これまで労使でつくり上げてきた安全議論を守ること。  
職場で原因究明ができる体制を構築する。

**組合：**今施策を安全第一の職場を構築すること。

**会社：**安全は経営のトッププライオリティであり、「究極の安全」を追求し、「融合と連携」をさらに進めていくことで、これまで築いてきた「安全文化」等の安全の基盤を強固にするなど、不断に安全レベルを向上させ、すべての事柄の基盤である信頼を構築していく。

**組合：**2026年1月から2月に相次いで発生した大規模輸送障害について、水戸支社の見解を示すこと。

**会社：**多くのお客さまに迷惑を掛けたことは重く受け止めていく。今施策で効率化を行うが、安全性を損なわないように行う考えである。

**組合：**これまで労使で確認した協約・協定や合意文書の安全議論の内容を遵守すること。

**会社：**労働協約や協定は今後も守っていく考えである。また、労使で合意した安全議論の中身は守っていく考えである。

**組合：**職場で原因究明ができる体制を構築すること。

**会社：**原因究明や対策が出来る体制を構築する考えである。

**組合：**今施策を通じて働きやすい職場環境を構築すること。

**会社：**引き続き働きがいと働きやすさの持続的向上に努めていく考えである。

### ② 各事業本部内において、各系統の教育・指導担当を配置し、技術力の維持・向上を図ること。 また、各系統のプロを育成すること。

**確認事項** 各系統で技術継承が出来る体制を構築し、人づくりを行っていく。

**組合：**全ての系統において、教育・指導担当を配置し、技術力の維持・向上を図り、プロを育成すること。

**会社：**引き続き安全・サービスレベル、技術力のさらなる向上に努めていく。なお、業務に必要な教育等は実施していく考えである。

**組合：**各系統の技術力の維持・向上はどのように行うのか明らかにすること。

**会社：**営業指導は水戸事業本部に配置し、土浦・浜通りのサポートを行う。安全は安全企画を担う社員を各事業本部に配置し、指導を行う考えである。乗務員は指導担当を引き続き各職場に配置し、指導を行う。また総合訓練センターで引き続き教育・訓練を行う考えである。工務職場では育成プランに基づき、各系統で教育を行う。検修職場ではこれまで培ってきたネットワークを維持し、技術力を高めていく考えである。

**組合：**工務職場では設備21施策でJRは管理のプロ、パートナー会社は施工のプロと棲み分けしたが、現場に行けず技術を学べない。大規模輸送障害で現場に駆けつけても設備を知らない等の事象が発生している。技術を学べる環境を構築すること。

**会社：**現場に出られない状況は水戸支社も把握している。現場に行ける体制を構築する。また、JRが管理を行うために現場を把握することは重要である。

**組合：**水戸事業本部は交直車両や気動車を有している特異な検修職場であるため、特情を考慮して技術力の維持・向上を図ること。

**会社：**融合と連携を闇雲に行うわけではないが、多くの知識を得る社員を育てていく考えである。

**組合：**昨年9月に水郡線ドアベルト故障で非連動運転を行った。安全を担保するためにも、安全に関わるコストカットは行わないこと。

**会社：**早めの交換周期、安全を担保していく考えである。

## 安全第一の職場を目指し、働きがいの持てる施策にするため、JR東労組に結集しよう！